

2011
April

vol.
41

The Marian

京都ノートルダム女子大学 同窓会 会報

マリアンハウス移転！

キャンパス内 キャロライン館へ



複合施設 キャロライン館完成予想図

目次

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 01 会長挨拶／本部役員・次期役員候補者紹介 | 10 アクティビティー案内 |
| 02 ご挨拶 名誉顧問 顧問 | 11 アクティビティー紹介 |
| 03 第46回総会報告 | 12 アクティビティー紹介 |
| 04 活動報告 会計報告 | 13 アクティビティー紹介・ファミリーコンサート案内 |
| 05 留学生日帰りツアー | 14 マリアンハウス運営委員会案内 |
| 06 支部だより | 15 新キャンパスの紹介 |
| 07 地区だより | 16 大学便り |
| 08 地区だより | 17 シスターセリーン松本寄稿 |
| 09 同期会報告・お知らせ | 18 第47回総会案内 祝周年紹介 |

「ごあいさつ」



会長 吉川 みづほ (1E)

同窓会の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今年、2011年は母校、京都ノートルダム女子大学の創立50周年に当たります。

藪内稔学長を始め、大学の皆さまのお慶びはいかばかりかと存じます。小規模ながらユニークな大学として出発した後も、50年の間に着実な発展を遂げ、益々充実していく母校を卒業生である私共は嬉しく誇りに思っておりました。その節目の年に同窓会にとりましても2011年は記念すべき年となりました。それは創立50周年事業・北山キャンパス総合整備計画の一環として建設される学内寮を含む複合教育施設（キャロライン館）の一階に同窓会活動の場を頂き、念願だったキャンパス内に同窓会本部を置くことが可能になったからです。これに伴いマリアン41号の表紙も新しくしました。

左京区岩倉幡枝町にあるマリアンハウスを離れることは真に心残りではありますが、しかし将来に目を向けて、キャロライン館での新マリアンハウスの準備を始めました。

新マリアンハウスが、ノートルダムに対する深い想いをもって建てられた岩倉マリアンハウスの精神を維持しつつ、今まで以上に同窓の絆を強め、卒業生のための心安らぐ場となるよう、又、生涯教育を奨励し、近隣の方々や先生方との親睦、大学在校生、寮生とも交流ができる場となるよう運営に力を注ぎたいと存じます。

同窓会が会員の要望に応え、大学に協力できる活動ができるかは、お一人お一人がどれくらい同窓会活動に興味をもってくださるかによっていると思われます。どうぞマリアンハウスにお出かけ下さり、活動や行事にご参加ください。又、大学の公開講座にもご出席ください。私は支部や地区同窓会に出席させていただきましたが、そこに流れる大学や同窓会に対するあつい想いと、ノートルダムスピリットが脈々と流れていることに感激しました。京都を離れた地域にお住まいの方々は、お近くの支部や地区の集まりを通して母校と同窓生との繋がりを強めていただけると存じます。

最後になりましたが、大学50周年記念事業募金活動へのご協力、心から御礼申し上げます。募金活動はまだ続きますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2年に渡り、皆さまから暖かいご支援、ご協力を頂き、役員一同心より感謝申し上げます。

新マリアンハウスにつきましては15頁に掲載しております。

<平成 21～22 年度本部役員>

会長	吉川みづほ	1E	(川 村)
副会長	中島 克子	1E	(長谷川)
	中井 恭子	12E	(塚 本)
会計	麻田 佳代	17E	(大 林)
	堀野 倫子	22E	(中 村)
書記	山下 郁子	21E	(尾 崎)
	中小路理恵	21C	(竹 原)
庶務(広報)	家村 悦子	4E	(上登野)
	滝田 洋子	17E	(泉)
庶務(名簿)	堀田佳津栄	12E	(小 川)
	大西 紀子	19C	(青 木)
マリアンハウス運営委員会	瀧井 優子	23C	(藤 井)
	北谷貴代子	23C	(堀 部)
会計監査	林 満智子	3E	(寺 田)

5月22日の総会をもって解散いたします。ありがとうございました。

次の方々が次期役員に推薦されました。
同窓会総会において承認を受けることになっています。
宜しくお願い致します。

<平成 23～24 年度本部役員候補者>

会長	中井 恭子	12E	(塚 本)
副会長	芝山 陽子	5E	(芝 山)
	瀧井 優子	23C	(藤 井)
会計	大島 美映	22E	(中 西)
	阪倉 也子	22E	(古 市)
書記	山下 郁子	21E	(尾 崎)
	中小路理恵	21C	(竹 原)
庶務(広報)	高木 里美	3E	(小 坪)
	家村 悦子	4E	(上登野)
庶務(名簿)	西岡由美子	12E	(西 岡)
	北澤みよ子	12C	(山 田)
マリアンハウス運営委員会	山田 恵子	12E	(村 岡)
	北谷貴代子	23C	(堀 部)
会計監査	堀野 倫子	22E	(中 村)

「ご挨拶」



学 長 藪内 稔
名誉顧問

同窓会並びに卒業生の皆様には、大学発展のためになにかとお力添えを頂き、大変感謝しています。懸案事項であった「北山キャンパス総合整備計画」も関係の皆様方のご支援のもとに順調に進み、本学創立50周年記念事業にふさわしい陣容を整えつつあります。

昨年2010年10月14日、北山の本学キャンパス内で、複合教育施設「キャロライン館」の起工式を挙行了しました。「キャロライン館」は、創立以来、教育施設としての機能を維持してきた学内寮を継続させるとともに、一階部分に、学生ラウンジを中心に、キャンパスミニストリーや同窓会館を包摂する、学生・教職員・卒業生・地域の皆様や本学の母体であるノートルダム教育修道女会のシスターの方々、小学校・中学校関係の皆様等との、ふれあい・交流の場としての総合的教育施設であります。開かれた女子大学として、この施設での各方面の皆様、とりわけ卒業生の皆様との交流の機会は、学生・寮生にとって社会的自覚・自立を育む絶好の場であると確信しています。

「北山キャンパス総合整備計画」の完成時には、大学キャンパスは「テレジア館」「キャロライン館」「ユージニア館」そして「マリア館」「ソフィア館」そして「ユニソン会館」の6館が揃うことになります。「テレジア館」は、修道女会の創立者であるマザー テレジア ゲルハルディンガーのお名前を、「ユージニア館」は、米国セントルイスからこの京都の地に「ノートルダム女学院」を創立され、本学初代学長を務められたシスター メリー ユージニアのお名前を、そして「キャロライン館」は、米国における「ノートルダム教育修道女会」の基盤を築かれたマザー キャロライン フリスのお名前を頂きました。そしていうまでもなく「マリア館」「ソフィア館」は本学の建学の精神・モットーである徳と知を示し、「ユニソン会館」は、徳と知の調和を表しています。創立50周年を機に、本学の建学の精神と伝統が構内全体に満ち溢れるキャンパスが完成します。

50周年記念事業を遂行するために、大学は各方面にご寄付をお願いしていますが、2011年1月現在、約1,700万円余の浄財が寄せられています。そのうち、卒業生、卒業生の保護者、そして同窓会及び同窓会支部から、実に約4割強のご寄付を頂いています。卒業生の皆様の温かいご支援と母校を思ってくださいるご厚情にただただ頭が下がります。教職員一同、卒業生の皆様のご厚意とご支援を無にすることのないよう、本学を更に発展させていかなければならない使命を、年頭にあたって再認識しているところです。今後ともよろしくお願ひします。

2011年1月11日

「ごあいさつ」



顧問 東 朝子

皆様いかがお過ごしですか？今年も皆様にご挨拶できることを嬉しく思います。

昨年は、カトリック精神をいかに学生たちに伝えるか試行錯誤しているということを述べました。この点に関してはあまり前進しているとは申せませんが、キリスト教サークルの数も少しずつ増え、僅かながらも熱心に参加する学生がおり、キャンパスミニスターとしてやりがいを感じております。キャンミニ室は相変わらず連日賑わっており、ゼミ決めに迷っている学生が先輩からアドバイスをもらったりする場面も見られます。月例ミサへの参加呼びかけも、プレゼントを用意するなどいろいろ工夫を重ねており、少しずつ増加の傾向にあります。キャンミニ室常連生やサークル参加者の中には、クリスマスに教会に出かけた人もおり、少しは学生の司牧に役立っているかなと感じております。

一方、音楽をも大切にする本学は、昨年のND祭に、人間文化学科設立10周年記念コンサートを開催し、また12月にもクリスマスコンサートが行われました。一部の音楽愛好家の先生による呼びかけで行われた催しですが、音楽大学でない本学においてこのようなコンサートを開くことができるのは貴重なことと思います。音楽個人レッスンが行われているのも珍しいことで、これは本学の誇るべきことであると確信しています。今年、50周年を迎える本学において、学生数の減少を憂うばかりでなく、学究以外でも誇るべき良い点をぜひ継承していったほしいと願っております。

*The Church, which
guides us to safe
harbor through the
rough seas of life*



(大学チャペルのステンドグラスより)

第46回総会報告

祝周年学年の皆様おめでとうございます。



総会式次第

- 開会
- 学歌斉唱
- 黙祷
- 会長挨拶
- 議事・承認
- 関東支部報告
- 中部支部報告
- 名誉顧問挨拶
- 顧問挨拶
- 祝周年学年紹介
- 懇親会 16 期担当
- 来賓紹介
- エンターテインメント
- 抽選会
- 閉会

総会模様 皆様も是非加わって下さい



平成 22 年 5 月 30 日 (日) 第 46 回同窓会総会がグランドプリンスホテル京都にて開催され、学長、理事長、シスター、先生方をお迎えして総勢約 80 名が集いました。

総会で承認を得た事項は次の通りです。

- ① マリアンハウスの移転について
現在岩倉にあるマリアンハウスを平成 23 年 9 月 (詳細未定) 本学北山キャンパス内複合施設 (キャロライン館) 1 階に移転する。
- ② ①の件について、建設委員会を立ち上げる。
新マリアンハウスが、可能な限り私達同窓生の希望に沿うように意見を出し合い、大学側や設計担当者と交渉をする。
- ③ 同窓会資金の一部を大学創立 50 周年事業への協力金として寄付に当てる。同時に協力金に加えて同窓生各位から寄付を募り祝賀記念の祝い金とする。
- ④ マリアンスカラシップを貸与から給付に変更。

以上ご報告いたします。



平成22年度 活動報告

京都ノートルダム女子大学同窓会 平成21年度会計報告

収 支 報 告

自：平成21年4月1日
至：平成22年3月31日

5月 第46回総会(グランドプリンスホテル京都)

関東・中部支部委員との合同ミーティング
国際交流マリアン奨学基金より留学生に
奨学金授与

第2回歴代会長の会

各クラス春季開講

6月 ※日本茶の入れ方

日文研 西本願寺

7月 第1回学年委員会

※フラメンコ

9月 ※バザー用品作り

日文研 河井寛治郎美術館

各クラス秋季開講

第2回学年委員会

第1回建設委員会

10月 マリアンハウスチャリティーバザー

大学祭「ホームカミングデー」参加

故榊田庸先生追悼会に列席

11月 小学校、中高、大学三校同窓会合同委員会

中部支部同窓会出席

物故者追悼ミサ参列(ユニソン会館)

留学生日帰りツアー(保津川下り・嵐山散策)

※アイシング・クッキー

日文研 建仁寺 両足院

12月 「ノートルダムクリスマス」参加

1月 各クラス冬季開講

日文研 新年会

3月 三校同窓会合同委員会

同窓会新入会員への説明会

第47回大学卒業式列席

※スイーツの小箱

日文研 京都の和菓子 老松 北野店

4月 会報「マリアン」41号発行

平成23年度大学入学式列席

※コラージュ

但し※印はマリアンハウス文化プログラム

収入の部		支出の部		
費 目	決 算 額	費 目	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	63,474,663	総 会 費	1,000,000	675,525
終身会費	10,065,000	マリアンスカラシップ	1,000,000	963,000
預金利息	129,497	マリアン発行費	3,000,000	2,610,488
マリアンスカラシップ返済金	433,470	卒業記念費	1,000,000	756,525
クラスアクティビティ受講料	306,500	クラスアクティビティ	1,200,000	870,000
雑収入	105,475	支部・地区活動 援助費	800,000	437,280
		同期会補助	200,000	63,450
		会 議 費	500,000	372,309
		交 際 費	500,000	238,900
		通 信 費	350,000	171,745
		事 務 費	150,000	64,964
		マリアンハウス運営費	2,400,000	1,767,206
		予 備 費	150,000	12,966
		小 計	12,250,000	9,004,358
		残 高		65,510,247
合 計	74,514,605	合 計		74,514,605

上記の通り決算報告申し上げます

会計 麻田佳代
堀野倫子本決算を審査の結果、収支支出不ずれも
適正であることを認めます。会計監査 林満智子
平成22年4月14日

寄付金の贈り先と額 (平成22年4月～23年3月)

H22. 5	ネパール ノートルダム教育修道女会	¥100,000
	ラリグランスを通してネパールの恵まれない人々のために	¥50,000
11	ネパール ノートルダム教育修道女会	¥100,000
H22.12	NDクリスマス献金	¥10,000

マリアンスカラシップ

平成22年度は申請者の学費充当の為に100万円を給付しました。(選考、分配は学生課に一任)

国際交流マリアン奨学金

ホウ・ゲッティさん(中国) 人間文化学科2年次生に平成22年5月31日同窓会総会に於いて奨学金¥120,000を授与いたしました。

平成22年度国際交流マリアン奨学基金協力者

平成22年4月～23年3月までに総額52,670円のご寄付をいただきました。有難うございました。

芝田満壽美 鶴田里香 小国央恵 大塚彩子 宮澤紀恵
横山恵子 所明子 家村悦子(敬称略)

奨学基金のお願い

留学生が将来、日本と母校の架け橋となられることを期待して
できる限り支援を続けたいと思
いますので皆様のご協力をお願い
致します。

右記の専用口座に一口1,000円
でお心のままにお振込み下さい。
振込用紙は入っておりませんの
で、振込先の用紙でお振込下さい。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	099
店名(カナ)	0九九店(ゼロキユウキユウ店)
預金種目	当座
口座番号	0157723
カナ氏名(注) (受取人名)	コクサイコウリユウマリアンシヨウガクキキン

国際交流マリアン奨学基金

「第8回留学生のための日帰りツアー 保津川下り」

2010年11月21日（日）濃霧に包まれた亀岡盆地、朝10時乗船。

「真ん中辺りでこの霧は晴れてくるよ」という船頭さんの言葉にほっとする。岸に佇む鳥や奇岩の説明、保津川の歴史等々を聞きながら、写真を撮り合う人、歌をうたう人、お菓子を回してくれる人、船頭さんのハッピーを着せてもらって喜ぶ人、トロッコ電車や岸の人達に手を振る人……それぞれの楽しみ方で2時間程の舟旅を終えました。

嵐山で下船後全員で写真を撮り、竹林～野宮神社（縁結びで知られる）方面を1時間程散策し、渡月橋そばの「良彌」にて嵯峨野料理を頂きました。その後自己紹介を日本語で簡単にしてもらい、現地で解散しました。

今年度ND女子大に在学中の留学生はほとんどがアジアからで42名です。今回、その内の15名（ベトナム1、タイ1、中国13）がこのツアーに参加してくれ、大学職員2名と本部役員5名の総勢22名でした。この秋の一日が留学生の皆さんにとって日本の良き思い出の1ページになったのであれば、これほど嬉しいことはありません。

京都ノートルダム女子大学での留学生活



呂文霄（ロ・ブントウ）（中国出身）
人間文化学部人間文化学科2年次生

私は、中国と違う環境に行ってみたいと思ったのが日本留学のきっかけです。京都ノートルダム女子大学に入学したばかりの時は、新しい環境で多くの人と出会い、全てが新鮮に感じられました。大学は小さいけれど、雰囲気がよく、少人数制のおかげで先生との距離が近く感じられます。みんなが私たち留学生の勉強や生活がうまくいくように助けてくださいます。

留学生活は大変です。最近はアルバイトを探すことが難しくなっています。勉強ももちろんしなければならないのでストレスがたまることも多いです。そんな中、友人と話したり、留学生会の活動や大学の活動に参加したりすると心が豊かになります。同窓会で実施して下さった日帰りツアーにも参加しました。都市を離れて心身ともにリラックスできました。そして、大先輩の方々とお話できて本当にうれしかったです。

これからももっと勉強に励み、将来は翻訳の仕事をしたいと思います。また、日本へ来て、福祉の問題についても興味を持ち始めたので、そのような勉強もできればと思っています。これまでつらいことも、楽しいこともありました。これからもいろいろなことがあると思います。しかし、何事も人生の中の貴重な経験だと思うので、留学生活をもっと充実させるために頑張りたいと思います。

「留学生のための日帰りツアー」に参加して

ウタイタマラット・ピラムブン（タイ出身）
人間文化学部人間文化学科（交換留学生）

タイから来た留学生の私は、日本で留学することが決まったときの嬉しさをまだはっきりと覚えています。タイでは、日本という国が大人気の海外観光地の一つです。「桜の国」や「紅葉の国」などと、よく言われており、自然や移り変わる季節の美しさなどはとても有名です。今回の留学生の日帰りツアーのお陰で嵐山の保津川下りを体験させていただいたことは、たいへん有難く思っています。紅葉の美しい色彩、水の音、秋の晴天など、京都の紅葉の名所の嵐山で、こんなに近く日本の自然と触れ合うことができるのは測ることのできない貴重な経験だと思います。

私は日本で留学していますが、「留学」ということは、ただ海外で授業を受け、知識を得、卒業するだけではないと思います。日常生活でいつも異文化と毎日触れており、交流しているところが留学自体のメリットだというべきでしょう。この日帰りツアーで、他の国の留学生たち、同窓会の方々と一緒に時間を過ごして、文化交流、心の交流ができる場所はなにより大切だと思います。



支部だより

関東支部

関東支部長 加藤 薫 (17E)



京都ノートルダム女子大学同窓生の皆様、お元気にお過ごしでいらっしゃいますか。只今、関東地方には約1,000名の会員がいらっしゃいます。

2010年11月14日17期清水真理子さんの叔母様で青年海外協力隊シニア部門の樋口暁子様
に講演をお願いし「シニアボランティアって…」という講演会を開かせていただきました。樋口様は1998年より埼玉県蓮田市長を8年お勤めになり、その後JICAのボランティアで2年間モロッコにてボランティア活動をなさいました。とてもエネルギーに満ちた素敵なお方で私達もたくさんパワーを頂戴したように感じた講演会でした。



このように遠く離れた関東の地で同窓生と会し懐かしいお話をする機会に恵まれ、本当に同窓の大切さを感じております。

2011年度は関東支部同窓会を17期で開催させていただきますので皆様ご協力を宜しくお願い申し上げます。

平成23年関東支部同窓会は 11月20日(日) 九段下のホテルグランドパレスにて予定しています。皆様ご予約下さい。

2011年関東支部役員 (17期)

支部長：加藤 薫 (奥村)

副支部長：門田真理子 (磯田)

書記：京近 厚子 (茂籠)

会計：清水真理子 (中山)

三輪みどり (藤原) 米澤 知子 (吉川)

山口美保子 (芦田)

中部支部

中部支部長 藤沢 欣 (2E)

昨年11月に中部支部同窓会を開催いたしました。幹事の21期生と支部役員が協力しアイデアを出し合い、久しぶりに賑やかな同窓会になりましたことにみな喜んでおります。今年12月に大学創立50周年を迎えるにあたり、学長様のこれまでのご尽力と新しい大学計画などを拝聴し、熱く語り合い、あらためて聖母のみ心を思い起



こしながら社会や家庭教育の大切さを考え、有意義な一日を過ごす事が出来ました。文末になりましたが、京都からおいで下さいました学長様はじめ東先生、本部役員の吉川様と家村様にも心よりお礼を申し上げます。今年4月に支部役員が交代し、下記の方々が引き受け下さいました。これまで支部を支えご協力下さいました皆様に心からお礼を申し上げますと共にこれからもご指導とご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

中部支部退任役員

支部長：藤沢 欣 (2E)

副支部長：杉浦木綿子 (4E)

書記：岡本 千秋 (22E)

会計：久保田恭子 (5E)

会計監査：仙田悠美子 (3E)

中部支部新任役員 2011年4月以降

杉山康代 (18C)

高岡貴子 (18C)

永易恭子 (18E)

加藤雅美 (25E)

ノートルダム レディーに 次期中部支部長 杉山 康代 (18C)

私は、昨年の同窓会の中部支部総会で初めて藪内学長様にお会いしました。その優しいお顔に秘められたノートルダムに対する熱い思いを伺うとともに、確かな見識と実行力に大変な感銘をうけました。少子化により大学経営自体が困難な今の時代に、我が母校の事も憂えておりましたが、そんな心配も学長様にお会いした途端に吹き飛んでしまいました。そして、私たち同窓生に出来る事はやはりこの同窓会の運営を続けて行く事であり、ノートルダム精神を持ち続ける事ではないかと再確認いたしました。



初代の学長様シスター ユージニアの「レディーになりなさい」と言うお言葉を大切にしたいと思うのです。シスター ユージニアは、佇んでおられるだけで上品で清楚でかつ、力強さを持った光輝くお方でした。学生の皆様には、是非この精神を「ノートルダム学」の中で学び4年間で、「レディー」になって巣立って頂きたいと願うばかりです。全国に「ノートルダム レディー」が広がり益々大学が発展します事をお祈りします。

地区だより

北陸地区

菅井 郁子 (1C)

同窓生の皆様お変わりなくお過ごしですか。

昨年(平成21年)第4回北陸地区ND同窓会を6月ごろに開催する予定でしたが都合で開催できなく、2010年6月1日(日)ホテル日航“桃季”にて中華料理をいただきながら開催いたしました。

日程の都合やうちの事情で参加できない方が多数でしたが、参加者は卒業年度が1-20回の方の7名でした。中華料理をいただきながら、それぞれ卒業年度が違うので、それぞれの自己紹介をしながら、それぞれの時代の思い出話は尽きなく、あっという間にお開きの時間が迫り、会が設立されて5年がたつので役員の改選をして、次回もお会いできるのを楽しみに、名残り惜しみながら閉会しました。



今回参加できなかった方々、第4回同様にお知らせいたしますので、お子様連れで是非お越しくださいませ。

北陸地区新役員

地区長 高村 隆子 (山崎)(20E)

役員 石田江三子 (青木)(21E)

猪原千津子 (服部)(8E)

長谷川まゆみ (牧)(2E)

河合裕子 (藤田)(13C)

住駒禎子 (北)(3E)

和歌山地区

和歌山地区のみなさまへ

道本 美月 (22E)

新しい年が始まりました。今年もみなさまにとって良い年になりますようにお祈り申し上げます。

さて、昨年12月に今年度の同窓会をお世話させて頂くメンバーがようやく集うことが出来ました。そして、3年振りに和歌山地区同窓会を次のように計画しております。みなさまとお目にかかれることを楽しみにしております。多数お誘い合わせの上、ご参加くださいませ。



世話人 中田かよ (釣谷)(22C) 高辻順子 (小池)(22E) 道本美月 (松本)(22E)

笹井悦子 (増田)(23E) 稲家裕子 (服部)(23C)

第3回和歌山地区同窓会 日時 平成23年11月26日(土曜日) 12時より

場所 ホテルアバローム紀の国 レストランツインバード

山陰地区

八十 福子 (7E)

H22年3月21日、島根県松江市ホテル一畑にて第2回地区同窓会を開催致しました。お彼岸の日で、少人数の参加でしたが藪内学長様、同窓会長吉川様、副会長中島様をお迎えして大変会話がはずみ、熱い心の交流の場となりました。KND卒業生であることを誇りに思えた楽しい一日となりました。次の第3回地区同窓会は、鳥取県米子市の大山にある桑原様 (5C) のペンションにて開催を予定しています。楽しい企画を考えてご案内致しますので、どうぞお楽しみに！

世話役 齋藤 友里 (41W)
野々内明美 (35C)
八十 福子 (7E)



私達をイメージされた美しい前菜!



九州・沖縄地区 九州・沖縄地区同窓会のお知らせ

石川 敬子 (41E)

春光うららかな季節となりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、前回の九州・沖縄地区の同窓会から、早くも一年半が経とうとしております。

そこで、ふたたび和やかな交流の場がもてたらと、同窓会を開催させて頂くことになりました。この度は、佐賀にて予定をしております。ぜひ、たくさんのご参加をお待ちしております。尚、お子様連れの方もお気軽にご参加下さいませ。詳細は後日葉書でお知らせ致します。皆様にお会いできることを心より楽しみにしております。

日時：平成23年6月5日 (日) 11:30～

会場：佐賀ワシントンホテルプラザ

住所：佐賀市駅前中央1丁目164番地 (JR佐賀駅前南口徒歩3分)

電話：0952-25-1111

もし何かご要望・ご質問などがございましたらどうぞお知らせ下さいませ。

至らぬ点もあるかと思いますがよろしくお願い致します。

連絡先／石川敬子

みちくさ会

水谷 訓子 (4E)

「みちくさ会」は母校の発展とNDファミリーの幸せを応援する会です。

昨年8月30日には、神戸北野ホテルのランチと高級婦人帽子の老舗マキシンの工房見学会を開催しました。

11月6日には、第3回「みちくさ会」をホテルグランヴィア大阪で32名の出席により開催しました。本学心理学部藤川洋子教授には「生き生きした人間関係のコツ」と題してご講演頂きました。俳優松井桂三氏のヴァイオリンによるアイリッシュ音楽等にも会場が沸きました。また、会員からご要望がありました親による婚活についての案を事務局から説明しました。皆様のご意見やご要望をもとに、親による婚活をはじめNDならではのものを企画して参ります。

本年は11月6日12時より同ホテルにて開催しますので、多数ご出席下さい。

世話人 中野 梅子 (3E) 櫻井美智子 (4E) 水谷訓子 (4E)
木村真紀子 (6C) 大井 佳子 (7E)



同期会の報告

21期 卒後25周年の同期会

卒後25周年、2010/5/29（土）イタリアン・カフェ レストラン・ルーコラに総勢71名が集いました。英文48名、生文23名、関西圏以外（九州、関東、グアム）からは総勢の1/4の参加。乾杯とともに、会場内は弾ける笑顔と賑やかなお喋りタイム。着席ビュッフェで、お洒落なレストランの中を自由に移動しながら、懐かしい時間、たのしいひとときを過ごしました。二次会には約半数がお喋りの続きを楽しみ、もっともっと一緒にいたい気持ちでした。「また、必ず集まろうね!」と、次の30周年が待ち遠しいばかりです。

岸本明子・森澤祥子（21E）



同窓会支部長・地区長

関東支部	加藤 薫 (17E)	山 陽	神足 主子 (6E)
中部支部	杉山 康代 (18C)	山 陰	八十 福子 (7E)
北 陸	高村 隆子 (20E)	中国・四国	佐野 英子 (9E)
和 歌 山	道本 美月 (22E)	九州・沖縄	勢一 令子 (12C)

地区会開催への本部からの補助について

- * 地区同窓生名簿のコピーと住所シールの提供
- * 通信費の実費

（上限2万円まで。但し、地区会の第1回目は実費を全額補助します。その後の補助は2年に一度以内に限りします。）

詳細はマリアンハウスまでお問合わせ下さい。

同期会への補助

- * 同期生の名簿のコピーと住所シールの提供
- * 通信費の実費

（上限2万円まで。但し実費の補助は2年に一度以内に限りします。）

詳細はマリアンハウスまでお問合わせ下さい。

47期学年委員

英語英文学科

原 理 紗 高田 知佳

人間文化学科

廣川 陽子 山田 彩世

生活福祉文化学科

國中 綾乃 小林奈津美

心理学科

大森 唯 楠本 万葉

学年委員の交替について

5年を上限として交替をお願いいたします。交替の際は、すみやかにマリアンハウスまでお知らせ下さい。

訃 報

ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

住田 幸次郎 名誉教授 2010年3月13日 帰天

枡田 庸 名誉教授 2010年8月 9日 帰天

Kornhauser由香子様 (17C) 2006 年11月15日 帰天

杉本 静香様 (16E) 2006年1月 帰天

戸田 利恵様 (14E) 帰天

金ヶ江智子様 (28C) 2000年頃 帰天

松原 可奈様 (29E) 2009年 帰天

合屋 佳子様 (23E) 2009年11月3日 帰天

図師 妙子様 (7E) 2010年 7月7日 帰天

北出 春美様 (14E) 2011年 1月9日 帰天



クラスアクティビティーのご案内

ク ラ ス	講 師	内 容	場所・日時	責任者
英 会 話	シスター モリーン ミトン	時事問題や個人的なことなどの自由討論、教科書を用いての時制の一致や変化など様々な応用問題の練習など。	ユニソン会館3階小会議室 第2・第4月曜日10:30～12:00	重松清子(2E) 中田記美江(7E)
書 道	寺田 九絲	漢字は三體(さんたい)千字文、かなは梅雪かな帖等をけいこする。	マリアンハウス 第1・第3水曜日10:30～12:00	竹内ルリコ(17C)
フランス語	阿部 哲三	Paul Valeryの作品講読とフランス語の「箴言」の構文完成演習並びに解説。	ユニソン会館小会議室 第1・第3火曜日10:00～12:30 (9月以降は未定)	吉良富美代(19C) 星山美香(19C)
マリアン コーラス	東 朝子	ストレッチ、発声練習で身体をほぐし、聖歌、季節や時の歌で心を豊かにする。	ユニソン会館B1音楽練習室 第3木曜日 10:00～12:00	鶴田 倫代(19E) 吉村由美子(21C)
英語で 書こう会	シスター セリン松本	ほのぼのとした物語をもとにニュアンスの伝わる英語で書いてみます。また、役立つ日常表現を勉強します。	マリアンハウス 第4金曜日 10:30～12:00	宮澤 紀恵(19E) 渾田洋子(17E)
NDおあしす 京 都	シスター セリン松本	聖書の一節を読んで味わって、心に残ることを自由に話し合い、互いの思いを受けとめ合う場です。	マリアンハウス 第4金曜日 13:00～15:00	芝山陽子(5E)
NDおあしす 中 部 支 部	シスター セリン松本	「心のおあしす」を見つけましょう。シスターのお話と仲間との語らいの中で。	安保ホール 第2金曜日11:00～13:00	桑原衣里(25E)

※ 各クラス受講料は学期毎に1,500円(3回/学期)または2,500円(5回/学期)

※ 各クラス共5名以下の場合、休講とさせていただきます。

サ ー ク ル	講 師	内 容	場所・日時	責任者
英 語 で 書 け 会	シスター セリン松本	日本語の発想から英語の発想へ。書くことによって少しでも身に付けられたら。 (参加費 1回 1,500円)	マリアンハウス 第2水曜日 10:30～12:00	久萬田澄子(1E)
ヨ ガ	新井 千春	定員10名 参加費1回2,000円 半年間の登録制、以後更新(欠席の場合、返還なし)	マリアンハウス 第3金曜日12:30～14:00 (先生の都合で他の金曜になる可能性有り)	稲田 蘭貴(23C) 北谷貴代子(23C)
手 芸 ボ ラ ン テ ィ ア		総会、マリアンハウスオープンデーのバザーに向けて手芸品作り。	マリアンハウス 第1・第3金曜日 10:30～15:00	小林 京子(17E)

日本文化研究会 23年度 年間予定

日本文化研究会

- 6月23日(木) 養源院見学(お江ゆかりの寺)
 9月27日(火) 源氏香体験 於山田松香本店
 (香室「向蒼軒」)
 11月1日(火) 茶会 大徳寺 芳春院
 古石州流本庄家元(10期)お点前
 1月24日(火) 新年会
 3月5日(月) 蒔絵螺鈿体験
 予定が変更になる場合があります。
 登録会費1年間 1,000円

日本文化研究会では、京阪神の名所旧跡を訪ねたり、伝統を体験して楽しい一日を過ごしています。昨年度は西本願寺の非公開部分の拝観、建仁寺塔頭両足院の座禅体験・上七軒「老松」の和菓子作り体験をしました。新年会は「下鴨茶寮」で美味しいお正月料理をいただきながら、歓談。どの回も満足の日でした。みなさまもご一緒なさいませんか。お一人でのご参加、年に一度だけのご参加もOKです。お申し込みをお待ちしております。

世話役

栗田比呂子(6C)
 村尾 晃子(6C)
 宇山 尚子(19E)
 小野 佳子(6C)
 菊池 由子(6C)
 稲垣 晴代(12E)
 清木なぎ子(19E)



クラスアクティビティー紹介

英会話クラス



シスター モリーン ミトンの英会話に参加されている方々は、シスターの魅力に引かれて来られているように思います。シスターのお話になる話題や経験がとても興味深く、また楽しいのです。私自身はじめてメリノール修道院でお会いしてから随分経つのですが、シスターの変わらぬエネルギーで前向きな姿勢に、いつも敬服しています。授業は前半がフリートークで様々な話題に花を咲かせています。後半は教科書を用いての文型、時制の一致などテンポよく進んでいきます。堅苦しいことは一切なく楽しく学び、脳の活性化により英会話なので、都合で休んでおられる方も、またはじめて参加しようと思われる方も気軽に来て下さったら幸いです。

中田記美江

書道



素晴らしい書道家の寺田九絲先生の優しいご指導の下、楽しく和やかに練習に励んでいます。また、時にはクラスの皆様に子供の事を相談して勉強になったり、楽しい話に花を咲かせたりしています。寺田九絲先生は、クラスの皆様お一人お一人の実力に合わせてご指導して下さい、どなたでもご参加いただけます。どうぞ一緒にお稽古を始めてみませんか。お待ちしております。

竹内ルリコ

フランス語



「阿部先生と十二使徒」

阿部先生ご指導による仏語クラスは、早や17年目となりました。毎回先生が創り出される講義は斬新かつ深遠であり、私達生徒は知的好奇心を大いに刺激され、さらなる探求の世界へと誘われます。今、授業ではフランスの代表的知性と謳われたPaul Valéry (19世紀) の作品講読を中心に、先生手作りの宿題演習にも取り組んでいます。ひととき学生時代に戻り、文学を通して人生を深く考える良い機会に恵まれ、至福の時を過ごしております。

星山美香

マリアン コーラス



月1回の練習に、なかなか全員が集まりませんが、楽しんでいきます。東先生のご指導により、まずは体をほぐして軽いストレッチ、次に発声練習、はじめは聖歌集から歌います。途中休憩をはさみ、季節に合わせた歌などを練習します。懐かしい歌や英語の歌などを総会、バザー、ミサ等の行事に参加して歌わせてもらっています。大きな声をお腹から出して歌うと気持ちいいですよ。人数が増えるともっといいハーモニーが……

新しい参加者を期待しています。

北澤みよ子

英語で書こう会

このクラスでは、ヨゼフと村の人々との心温まる物語を、毎回少しずつ訳しています。シスターセリーン松本のご指導のもと、場面のニュアンスが伝わる表現でシンプルに書くことが目標です。また、ヨゼフの物語とは別に日常会話でよく使う表現を英語で書く練習も行っています。参加メンバーは卒業期も英語のレベルもそれぞれ違いますが、ワイワイと意見を交わしたり、また自分の訳が上手く出来ていたときには、「やった!」と無邪気に喜んだり、クラスが一体となって楽しく学んでいます。

宮澤紀恵



NDおあしす京都



シスターセリーン松本をお迎えして年に9回午後1時から3時までクラスを持っています。カトリック教育を土台に置くノートルダム女子大学の同窓会に聖書を学ぶクラスがあることは、大変意義のあることだと思います。参加は各々の自由意志を尊重することになっています。言い換えますと、どなたが、いつ来られてもよいのです。ご存知のように、ノートルダムは、少人数制でまとまりのある大学ですから同窓会で初めて会う先輩や後輩がまるで旧知であったかのように親しく交じり合う場になっております。このような日常と異なる優しい場で聖

書の言葉を読み、心に残ったり、ひっかかる言葉を大事に考え、話し合っています。そして、お互いの言葉に聞き入るうちに、自分の考え方や見方を自覚し、或るときは見直して心を見つめ直す「時」になっております。慰めと癒しの場……それが「おあしす」です。

芝山陽子

NDおあしす 中部支部

中部支部で唯一定期的に活動している講座です。毎月ノートルダム唐崎修道院から講師としてシスターセリーン松本をお迎えして開催しています。

シスターが持参して下さった聖書の一節を読み、感じたことを話合います。各人のさまざまな考え方や想いを分かち合い、共感し楽しく身近に聖書を学ぶことができます。毎日をあわただしく過ごしている中で、月に一度だけでも聖書を通して自分を見つめ直し、生きるヒントをいただき生活を見直す良い機会になっています。最近では25期生と3期生の方々3人が加わり10人程の活気ある講座となってきました。幅広い年齢の活動ですが、同窓生という絆のもとで、楽しく打ち解けた語らいの場を持つことができることに感謝しております。信者さんでない方も参加しています。都合のよい時だけでも受講できますので、一度体験受講をされませんか?

神尾篤子



サークル

英語で書こう会



得意不得意は別にして、とにかく英語は楽しいという人たちが集まって出来たサークルです。シスターセリーン松本が簡潔で英語らしい表現を優しく丁寧に、そしてワンランク上の英文になるように指導して下さいます。いつも皆、学生に戻ったようにフレッシュな気持ちで楽しく勉強させて頂いております。皆様のご参加をお待ちしています。

久萬田澄子



ヨガ

マリアンハウスでのプログラムから発展してサークルになりました。現在登録人数は9名で、登録者欠席の場合もあるために、単発で若干名の参加が可能です。レッスン料金は同じく1回2,000円となります。 北谷貴代子

手芸ボランティア

同窓会総会とマリアンハウスのオープンデーで手づくり手芸品を販売しています。月2回、製作に励んでいます。作品のアイデア、製作を手伝って下さる方を募集しています。気軽に見に来て下さい。売り上げは同窓会からネパールや国内外の災害の寄付金となります。皆さんのご協力を宜しくお願いします。 小林京子



ノートルダムファミリーコンサートのご案内

2011年9月3日(土) 開場13:30 開演14:00
於：京都コンサートホール

音楽顧問：大山平一郎（ノートルダム学院小学校卒）
指揮：柴 愛（ノートルダム学院小学校、ノートルダム女学院中、高校卒）
ノートルダム女学院・ノートルダム小学校オーケストラ
ノートルダム三校ファミリー混声合唱：アヴェ ヴェルム コルプス、ハレルヤコーラス
ノートルダム卒業音楽家によるソロ演奏
中野 真理 フルート
岡村明日香 ピアノ
木下 真希 バイオリン

入場料：一般¥1,500 学生¥500
チケット申し込み：法人事務局 又はマリアンハウスまで
支援先：ノートルダムネパールミッション
混声合唱参加者募集
募集対象：在校生、卒業生、ご家族、教職員
男声バス、男声テノール 歓迎
締め切り：4月末日
参加ご希望の方は法人事務局へお申し込み下さい。
法人事務局：TEL 075-723-1072 FAX 075-723-1074

□主催／学校法人ノートルダム女学院
□後援／京都ノートルダム女子大学・ノートルダム女学院中学校高等学校・ノートルダム学院小学校、
各校同窓会、父母の会、後援会



マリアンハウス運営委員会から

平成22年度 マリアンハウスチャリティーバザーと文化プログラムの報告

毎年恒例のマリアンハウスの大イベントであるチャリティーバザーが、平成22年10月21日に開催されました。今年は、この場所で開催される最後のバザーということで、シスター、教職員、同窓生、近隣の方々など、朝から大勢の皆様にご参加頂きました。

一階では、寄贈品、スタッフによる手作りの品、業者の方による販売など、お買い物を楽しんでいただきました。また喫茶コーナーでは大人気の手作りケーキ、お寿司、サンドイッチを召し上がっていただき、皆様の笑顔がこぼれていました。

二階では、書道クラブの作品の展示と、堀田佳津栄さん(12E)のすばらしいカルトナージュの作品が皆さまの目を楽しませました。東先生ご指導によるマリアンコーラスの合唱もすばらしく、会場内の心が一つとなった歌声はいつまでも響いていました。

今年も皆様のお陰で盛大に幕を閉じることができ思い出深い一日となりました。詳細は未定ですが来年は女子大内の新しい場所での開催になります。

マリアンハウスでは多彩なプログラムをご用意し、学年を超えた交流を深めております。



今後とも皆様のご協力とご参加を心よりお待ちしております。



平成22年6月「日本茶の入れ方」



平成22年7月「フラメンコ」



平成22年11月「アイシングクッキー」

平成23年度 チャリティーバザー 10月30日(日)開催

たくさんの寄贈品をお送り下さいますよう、お願い申し上げます。

平成23年度マリアンハウス文化プログラム

9月より京都ノートルダム女子大学 キャロライン館内 同窓会館にてバザー・講習会を行います。

月 日	時 間	内 容
平成23年 6月22日(水)	10:30～12:30	パールアクセサリー 講師：マヤパール 真珠とパワーストーンを組み合わせ、お好みのデザインでネックレスを作ります。
9月28日(水)	10:30～12:30	バザー作品作り
10月30日(日)	10:30～12:30	チャリティーバザー
11月30日(水)	10:00～12:30	カルトナージュ(フランス伝統工芸) 講師：堀田佳津栄 厚紙と特殊な紙を使って、ペン差しの付いた手帳カバーを作ります。
平成24年 3月28日(水)	10:30～12:30	和菓子作り 講師：京都 亀屋良長 四季の風情が彩り豊かに表現された生菓子を職人さんと一緒に作ります。
4月25日(水)	10:30～12:30	痩せるエクササイズ 講師：KEIKO(スタイルエクサ+K主催) 身体の中から体質改善し、骨盤矯正・太りづらい身体作り・健康で美しくなるエクササイズを教えます。

* 諸般の事情により日程の変更があります。お問い合わせはマリアンハウスまで。 * 上記への申し込み、ご意見、ご希望などをお待ちしております。

マリアンハウススタッフ 山田 恵子(12E) 辻 文江(12E) 森本 純子(14E) 西別府満喜子(14C) 北谷貴代子(23C)
北村香代子(23E) 稲田 蘭貴(23C)

寄贈品送り先・その他の連絡先

平成23年9月末まで

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628 マリアンハウス

平成23年9月以降

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地 京都ノートルダム女子大学内 同窓会館 マリアンハウス

Tel&Fax 075-701-9149 月・水・金 10:00～3:00

マリアンハウス移転のお知らせ

この度マリアンハウスが岩倉幡枝町から大学キャンパス内の新学舎「キャロライン館」一階東部分に移転することになりました。大学創立50周年記念事業の一環として大学と同窓会との協議を経て、移転のはこびとなったものです。建築費用は大学の負担で、同窓会は50周年の祝賀御祝いとして、5千万円の寄付をさせていただくことになっております。そのうち3千万円は同窓会資金から拠出し、残りの2千万円を同窓生の皆様からの寄付に頼ることにいたしました。この事項は本誌3ページで報告していますように昨年の総会で承認を得ておりますのでご了承下さい。

上記の寄付につきましては、本誌に同封しております大学からの寄付申込用紙および振込用紙をご使用ください。その際同窓生であること、卒業年（あるいは～期生）をご明記ください。

2千万円の目標額に達する事が出来ますように皆様のご寛大なご協力をお願いいたします。

■ 新マリアンハウスの概要は下記のとおりです。



■ 住所／〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1 京都ノートルダム女子大学内 同窓会館マリアンハウス
TEL & FAX 075-701-9149

■ ボランティア人材登録の御礼

昨年「The Marian」での呼びかけに対してご登録下さいました皆様、有難うございました。

登録頂きました項目は次の通りです：

民謡、英語・英会話教師、日本語講師、臨床発達心理士、テニスコーチ、華道教授、茶道教授、長唄三味線演奏家、米国宝石協会鑑定士、書道教授、インテリア・カラーコーディネーター、ステンドグラス製作、介護支援専門家、朗読、パッチワーク講師、キャリアカウンセラー、パソコンインストラクター、刺繍、音訳ボランティア、フリーライター、保育士、製菓衛生士、図書館司書、ホームステイ。

今後 同窓会活動の講師や学生の支援などでご活躍いただきたいと期待いたしております。

登録がまだのお方は総会出欠返信葉書にご記入下さい。もしくは氏名・卒期・住所・電話/ファックス・Eメールアドレス・得意分野を明記して、マリアンハウスまでご連絡下さい。

A Candle loses nothing by Lighting another candle.

Fr. James Keller

大学便り

創立 50 周年記念行事について

いよいよ本学は本年12月に創立50周年を迎えます。この記念の年にさまざまな本学の特色を生かした行事を現在計画中です。詳細につきましては決定次第、大学ホームページに掲載しますので是非ご覧ください。

同窓生の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【創立 50 周年記念式典】

日時 平成 23 年 12 月 10 日(土)10:00 開始 〈予定〉

場所 京都ノートルダム女子大学内 ユニソン会館

【創立 50 周年記念ホームカミングデー】

日時 平成 23 年 12 月 10 日(土)15:00~18:00 <予定>

場所 京都ノートルダム女子大学内 ユニソン会館

* ご参加くださる先生方のお名前が分かり次第ホームページに掲載します。

* 申込み方法等もホームページに掲載する予定です。(10月頃)

その他

平成 23 年度行事予定

●物故者追悼ミサ

11 月 14 日(月)

●ノートルダムクリスマス

12 月 19 日(月)13:30 開場

●卒業式・卒業パーティー

3 月 10 日(土)

【創立 50 周年記念講演会・シンポジウム・イベント・コンクール等の実施】

創立50周年を記念して、学部・学科毎の特色ある講演会や本学の教育活動を発信するシンポジウム、地域の方や高校生に本学の教育内容を具体的に楽しく知っていただくためのイベントやコンクールを計画中です。

創立 50 周年記念事業テーマ

徳と知 50 年 世界へ 未来へ

「徳と知」は、本学の建学の精神を端的に表わす言葉で、「品性と知性を兼ね備えた、こころで時代と向き合える女性の育成」という本学の教育の基盤となる考え方です。本学は、この「徳と知」を掲げて50年、伝統ある女子大学として歩んできましたが、更なる50年に向けカトリック精神を基礎とした、豊かな人間性の育成と教養や技能の習得を教育の目標として世界に発信していきます。

創立50周年を新たな契機として、建学の精神を基に、グローバル化に対応し世界で活躍できる人材、また、時代の変化に対応し未来に向かって羽ばたける人材の育成を目指すことを表現するとともに、本学がますますこれからの未来に向けて発展することを願い、この創立50周年記念事業テーマが決定しました。



複合教育施設

キャロライン館 平成 23 年 夏 完成予定

現在、正面玄関南側に建設中のキャロライン館は2階から4階が学生寮で1階にマリアンハウスの機能を備えた同窓会施設、キャンパスミニストリー室を配置した複合教育施設です。



思い出のページ

シリーズその3



念願の「マリアンハウス」

初代同窓会顧問・本学名誉教授 シスター セリーン 松本

一期生が卒業した1965年以来、活動する場として、同窓会館をもつというのが大きな念願でした。1968年、図書館棟が完成した時、地階多用室（現在は書庫）に隣接する小さな一室を、既にはじめていたマリアンサービスの連絡、相談場所に使っていました。また、その頃から始まった英語勉強会や同窓会総会の会場として地階多用室を使ったこともあります。その後、地階多用室は教職員の会議室として使われるようになりました。

大学創立25周年を祝う1987年頃のこと、当時の学長（シスター マイケル田代）や事務局長と私は、女子大にふさわしい外観で、且つ、活動に便利な場所をイメージして大学近辺の借家や売家の不動産物件を探したり、ハウジングのモデルハウスを見て回ったりしました。しかし、どれもこれも「帯に短し、襷に長し」でした。

他の女子大はキャンパス内に独立した建物として同窓会館を持っています。それが許されないノートルダム。そこで思いついたのは、岩倉幡枝にある大学運動場に隣接する約百坪の土地です。そこを大学から借りて、同窓会の基金で会館を建てる許可を学長より1991年1月に得ることができました。急遽、一期生の有志で設立委員会を立ち上げ、種々の難関や困難があったにもかかわらず、並々ならぬ献身的な委員の努力と労力のおかげで、遂に、大学創立30周年を祝う1992年11月に念願の同窓会館が完成したのです。

初代学長、シスター ユージニアがつけられた同窓会

の会報名にちなんで「マリアンハウス」と命名しました。

以来、「マリアンハウス」は同窓会の拠点として、役員会の会合、種々の勉強、講習会、ボランティア活動の場として有効に利用されていることは周知の事実です。母校に「里帰り」をする卒業生が、起居を共にしながら旧友と同窓の絆を確認し合う場として利用できるホームでもあります。

10月に開催される恒例のオープンハウスの日は、チャリティバザーを催し、作品の展示等をして近隣の方々との交流や、同窓生、教職員との親睦の機会となっています。

「マリアンハウス」開設10年目の2002年、マリア像が玄関に設置され、名実共に「マリアンハウス」になりました。家庭的な雰囲気での生涯学習の場であり、卒業生にとっての思い出の深いおしゃれなホーム、「マリアンハウス」ができて以来この20年の間、同窓会は内外共に充実発展してきたと自負できるのではないのでしょうか。

「マリアンハウス」は聖母マリアのご保護のもとに建てられたマリアの家です。今後、時代の趨勢によって建物自体がどのようになろうとも、「マリアンハウス」で芽生え、育ったマリアの精神は、卒業生が集まるところにはどこでも脈々と生き続け、かかわる人々に愛と喜び、希望と平安をもたらしていくことでしょう。

NDおあしす

週末黙想の案内

2004年来、7月と11月に唐崎修道院で「NDおあしす：1泊憩いの集い」をしてきました。参加された卒業生にとって再会の時であり、ノートルダムの絆を再確認する貴重な体験の場でした。

今後は、修道院が提供している「神との親しさの中で日常生活を生きるために」というテーマの祈りの体験に形をかえて参加していただこうと考えました。日頃の生活の中で疲れた心身のエネルギーを回復するために、憩う時間を作ってください。次の2泊3日の週末黙想（金曜日夜食6時から日曜日昼食まで）の日程中から、或は、日程中の1泊、または、1日の黙想でもかまいませんので、参加を希望される方は、次のいずれかの方法でご一報ください。お待ちしております。

日時： 4月 8日(金)～ 4月10日(日)
5月20日(金)～ 5月22日(日)
7月22日(金)～ 7月24日(日)
9月 2日(金)～ 9月 4日(日)
12月 2日(金)～12月 4日(日)

場所：ノートルダム唐崎修道院

参加ご希望の方は、次のいずれかの方法でご一報ください。ご連絡下さった方には、後日、詳細をお送りします。

〒520-0106 大津市唐崎一丁目3-1ノートルダム修道院 Sr.セリーン 松本
Tel: 077-579-2884 077-579-2937
Fax: 077-579-3804
Mail: celine-matsu@mbp.nifty.com (件名: NDおあしす)

平成23年総会へのお知らせ

本年は大学創立50周年の特別な年です。新しいマリアンハウスの建築も順調に進み、母校との距離が名実ともに近くなってきております。今年こそは総会に出席して、同窓生との絆を再確認し、発展して行く母校のため一緒に乾杯しましょう！

2011年 第47回総会のお知らせ

日時：平成23年5月22日(日) 午前11時00分(受付10時30分～)

場所：グランドプリンスホテル京都「ロイヤルルーム」

(旧 京都宝ヶ池プリンスホテル) Tel 075-712-1111

地下鉄「国際会館」下車

会費：6,000円 子供(小学6年生以下)1,500円

エンターテインメント フェリーチェ弦楽四重奏

☆ 欠席の場合でも返信ハガキを投函下さい。

～～ エンターテインメント担当学年より～～

同窓会の皆様、大学創立50周年おめでとうございます。

今年度総会には、お祝い気分を盛り上げて頂けるような4人組音楽集団「フェリーチェ 弦楽四重奏団」をお招き致します。

クラシックからポピュラー、映画音楽、ミュージカルやCMソングまで幅広いレパートリーで会場を盛り上げて下さいます。皆様のお好きな音楽も何曲か聴けるはず。どうぞお楽しみに。

同窓生、同期の仲間に見えるこの機会に是非、お誘い合わせの上ご出席頂き共に楽しい時間を過ごして頂けると幸いです。

17期生 学年委員 山西 令子／弘部 裕美



フェリーチェ弦楽四重奏団 プロフィール：

メンバー紹介 第1バイオリン 山本 美香 第2バイオリン 桑原 謡子
ヴィオラ 小崎恵理子 チェロ 若松さより

京都市立芸術大学、東京芸術大学出身のメンバーで2006年頃結成。

関西各地のホテルをはじめ、小・中学校のPTAの行事、老人ホームなどで演奏活動を行う。2008年2月には、人気テレビ番組「ジャイケルマクソン」の収録に参加。陣内智則さん、千原兄弟、フットボールアワーの皆さんが「しるし」を熱唱。そのバックで演奏。同年4月に全国にオンエアされる。

主に、クラシックを勉強してきたメンバーであるが、それにとどまらず、ポピュラー音楽、映画音楽やミュージカルのナンバー、コマーシャルソング、そして心温まる童謡など幅広いレパートリーを誇る。

1期生の皆様 大学就学50周年同期会のお知らせ

日時：2011年10月16日(月)11:00

場所：ホテルグランヴィア(JR 京都駅中央口)

多数のご参加をお待ちしています。後日ご案内状をお送り致します。

坂上照代

西川和子

2期生の皆様 45周年同期会合のお知らせ

日時：2011年11月17日(木)

場所：エクシブ京都八瀬離宮

錦秋の京都で卒業45周年をお祝いしましょう。ぜひお誘い合わせの上ご参加下さい。後日ご案内を差し上げます。

川上春子(苦名) 大塚彩子(服部)

祝周年学年の皆様

おめでとうございます。

総会でバラの花が贈呈されます。

是非ご出席下さい。

45周年	2期
40周年	7期
35周年	12期
30周年	17期
25周年	22期
20周年	27期
15周年	32期
10周年	37期
5周年	42期

予告 2012年 第48回総会は5月27日(日)です。

編集後記

原稿をお寄せ下さいました皆様大変有難うございました。

マリアンハウスがキャンパス内に移転になり、同窓会クラス/アクティビティーへのご参加が便利になります。あなたの学び心を満たし、またあなたの才能を発揮する場所としてご参加なさってはいかがでしょうかでしょう。

本年も本部同窓会、そして各地で支部、地区同窓会が開催されます。5月22日は京都へ、そして支部、地区同窓会参加旅行プランはいかがでしょうか。

「The Marian」に貴女のご提案、ご意見をお寄せ下さい。 家村

今年は大学創立50周年そして北山キャンパス内へのマリアンハウス移転という2つの喜びがあります。私達同窓生も、懐かしいキャンパスで再び集うことができますことは、何よりの幸せだと思います。キャンパスはこれからより近代的に変貌を遂げますが、私達一人一人に根付く「ノートルダム精神」はこれからも変わることなく、受け継がれていくことなのでしょう。一人でも多くの同窓生の皆様に、母校を訪れ、ご自身の目で見ていただき、今まで以上に母校の発展のためにお力添えをいただけますことを願っています。 滝田

同窓会設立：1965年6月27日

会 員 数：約1万3千名（3月末現在）

支 部：関東、中部

地 区：北陸、和歌山、山陽、山陰、中国・四国、九州・沖縄

☆ 同窓会活動情報は同窓会ホームページで！

http://www.notredame.ac.jp/m_house/

または大学HPアドレス：<http://www.notredame.ac.jp/> から

☆ ‘大学の今’は大学報 *Renouveau* で！

年間4回発行され、大学のホームページでご覧になれます。



Mary's purity

マリアンハウス

京都ノートルダム女子大学同窓会館



● 現マリアンハウス 2011年7月末閉館

マリアンハウス 使 用 料	1F ホール	3,000円
	2F・和室(8畳)	1,500円
	・和室(6畳)	1,500円
	・洋室(6畳)	1,500円
	使用時間：10:00～15:00 冷暖房、台所使用可。	
宿 泊	1泊1人 2,500円(2名より10名まで) チェックイン：15:00～17:00 チェックアウト：10:00迄 キャンセル：5日前までに以後は 50%のキャンセル料 冷暖房、台所、浴室使用可。	

※ 8月は休館

● 新マリアンハウス 2011年9月以降開館

マリアンハウス 使 用 料	1F ホール	3,000円
	2F・和室(10畳)	1,500円
	・洋室(7畳)	1,500円
	使用時間：10:00～15:00 冷暖房、台所使用可。	

但し新マリアンハウスでは宿泊は不可になります。

■ 開館曜日・時間／月・水・金 10:00～15:00

■ 年 間 休 館 日／● 夏休み 8/1～8/31

● 冬休み 12/20～1/10

■ 移 転 先 住 所／〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地

京都ノートルダム女子大学内 同窓会館 マリアンハウス

京都ノートルダム女子大学 同窓会会報 マリアン vol.41

2011年4月1日発行 発行／京都ノートルダム女子大学 同窓会 〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町628

TEL・FAX.075-701-9149 E-mail: nd.marian-hs@jeans.ocn.ne.jp

表紙題字 シスターセリーン松本 印刷／ミナトメイワ印刷株式会社